



田植えをしてつかんだ銅メダル

校長 弓指 修

現在イタリアで開催されているミラノ・コルティナオリンピックのスキージャンプ男子個人ノーマルヒルで銅メダルを獲得された二階堂漣選手。この方は正に自分の「目標」を目指してあきらめずに取り組み続けてつかんだメダリストです。

二階堂選手は、北海道江別市出身でお父さんは1991年世界選手権代表の元スキージャンパーだそうです。小学校二年生の冬、札幌の少年団の体験会にお父さんから誘われて、競技を始めました。「行く！」と即答したものの、当日の早朝には「眠いし、寒い」と駄々をこね、半ば無理やり連れて行かれたのだそうです。元代表選手の父を持ち、エリートのように映りますが、順風満帆ではありません。二階堂の原動力は「反骨心」なのだそうです。

下川商高校三年生時にW杯出場を果たしますが、実業団チームから声はかからなかったのだそうです。東海大に進学しますが、競技に専念するため約一年で退学します。派遣のアルバイトに登録し、田植えなどで活動費を稼ぎながら競技を続けてきたのだそうです。その一年後にはビール輸入会社の日本ビールがスキー部を発足し、所属が決定しました。二階堂選手は「このスポーツで世界になるっていうのは昔から目標にしていたよ」とインタビューに答えています。ある情報テレビの中でレジェンド葛西さんが「アプローチからテイクオフから空中、全部が完璧じゃないとテレマーク（着地姿勢）はきれいに決まらない。きれいなテレマークが銅メダルに導いた」と称賛されました。

オリンピックに出場するスキージャンプ選手の一日の練習時間は、時期（シーズン中かオフシーズンか）によって異なりますが、一般的に身体作り（フィジカルトレーニング）とジャンプ練習を合わせて、1日4～6時間以上だそうです。四年間毎日練習したとすると約8766時間。何千時間という「準備」があったから獲得できた銅メダルなのだそうです。なりたい自分を考えて、それに向かって具体的に何に取り組んでいくのか決めて、その取組を継続していくことの大切さを教えてくれるお話です。

そして、その子供たちに一番近い存在である私たち保護者や教師は、子供たちの応援団でありたいものです。登校する日も三学期は残り30日を切りました。子供たちと一緒に今年度のまとめをしっかりと、新しい学年や学校に進学することができるよう「準備」に取り組んでまいります。

「学校楽しいーと」の実施

1月15日、「学校楽しいーと」を実施しました。本校では、子供たちの心の状態や学校生活の様子を把握するため、年に6回アンケートを実施しています。

結果を大切に受け止め、一人一人の悩みに寄り添い安心して過ごせる環境づくりに努めてまいります。



創立記念 キャリア講話

1月19日、医学部に通う本校の卒業生をお招きし、「キャリア講話」を実施しました。小学校時代の懐かしい思い出話から、現在の夢に向かって歩むまでの道のりなど、貴重なお話をたくさん伺うことができました。



岐阜県との遠隔合同授業

1月22日、3・4年生が岐阜県の小学校と遠隔合同授業を行いました。お互いの県や市の特徴について紹介し合いました。



岐阜県への興味・関心が高まるとともに、自分たちが住む地域のよさを再発見する貴重な機会となりました。また、当日は北海道からお越しいただいた先生方にも、授業の様子を参観していただきました。

<2月～3月の主な行事予定>

-----【2月】-----

20日（金）学校運営協議会
23日（月）天皇誕生日
24日（火）6年生を送る会 お別れ遠足
25日（水）県下一周駅伝応援
26日（木）第3回学校保健委員会
授業参観・学級PTA・新旧役員会

-----【3月】-----

2日（月）PTA立哨指導
12日（木）卒業式準備（4/9まで体育館開放中止）

ふるさと協和を愛し 夢に向かって体と心を鍛え、自ら学ぶ児童を育成する
望み大きく たくましく 協力和合
[本物がもつ素晴らしさを実感することができる教育活動の推進]

学力・指導力の向上



1/13 鹿児島学力・学習状況調査

自主的活動の推進



1/14 委員会活動の再編成

いじめ・不登校の未然防止



1/15「学校楽しいと」の実施

キャリア教育の推進



1/19 創立記念 キャリア講話

遠隔合同授業の推進



1/20 市内の小学校との遠隔合同授業

一校一運動の推進



1/20 なわとび運動

遠隔合同授業の推進



1/22 県外の小学校との遠隔合同授業

食育の推進



1/27 野菜の収穫